



# 令和3年度 FCP若手フォーラム

令和3年5月18日

農林水産省

食料産業局 食品製造課 食品企業行動室  
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

# 1. 概要

## ● 趣旨

食の安全・安心への取組は、フードチェーン全体の課題であり、また食品事業者にとっては終わりがなく、人材育成や事業者の相互関係づくりによる食品企業・業界の体制の強化が重要

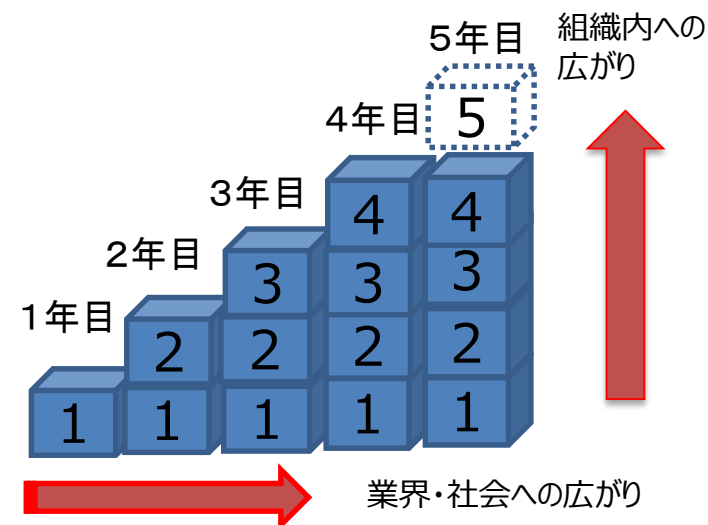
そのため、将来企業等の中心となる若手社員を対象に、コミュニケーションのあり方、食をめぐる社会環境の変化や食の安全に対する動きや取組を学び、参加者が食の安全・信頼向上の観点から企業行動を考えることを目的として、平成28年度より、FCP若手フォーラムを開催（\*令和2年度は、コロナ禍により取りやめ）

## ● 参加者

- 原則、FCPのネットワーク参加者登録をしている企業・団体に所属する30代前半程度までの社員（年齢は目安）
- 所属部署は限定せず、品質管理、製造、お客様サービス、営業、教育、店舗スタッフ等、幅広い方々
- 参加者は年間を通して同一とし、可能な限り、毎回出席

## ● 進め方

- 6回開催（若手フォーラム5回＋活動報告会）を予定
- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、WEB形式と集合形式によるハイフレックス形式によって開催
- 第1～4回はWEB形式で実施、第5回は集合形式で実施（社会状況によっては変更）
- FCPの基本的な考え方や各ツールについて学び、近年の社会環境・消費者意識の変化・先進的な取組等について、有識者にご講演いただき、毎回チーム毎に、「社会環境の変化に応じた食品事業者の取組」について考えるワークショップを実施
- 学んだことをFCP活動報告会にて発表、その内容に関して、活動報告会参加者とのディスカッションを実施



## 2. プログラム

### 第1回 インTRODクシヨンとワークシヨップ（FCP・協働の着眼点）＜5月＞ 場所：WEB

- 講義：「FCPについて」及び「協働の着眼点について・ベーシック16について」を学ぶ
- 専門家講義：企業の不祥事とコーポレートガバナンスの関係性について学ぶ
- ワークシヨップ：自社の振り返りや他社との意見交換

### 第2回 専門家講義とワークシヨップ（社会環境）＜7月＞ 場所：WEB

- 専門家講義：社会環境の変化から現状の取組や将来
- ワークシヨップ：社会環境の変化について意見交換、取組や課題を整理

### 第3回 専門家講義とワークシヨップ（コミュニケーション）＜9月＞ 場所：WEB

- 専門家講義：食のリスクコミュニケーションや企業の情報発信の取組から、現代社会のコミュニケーションの在り方を学ぶ
- ワークシヨップ：自社のコミュニケーションについて意見交換、取組や課題を整理

### 第4回 専門家講義とワークシヨップ（食の課題）＜11月＞ 場所：WEB

- 専門家講義：食品に関する世界と日本の規格・認証の状況（GFSI、企業の取り組み）について学ぶ
- ワークシヨップ：食の安全・信頼について意見交換、取組や課題を整理
- FCP活動報告会に向けた論点の整理と発表資料の作成

### 第5回 発表資料の作成＜1月＞ 場所：農林水産省周辺会議室

- ワークシヨップ：全体を振り返り意見交換
- FCP活動報告会に向けたグループ発表（資料の作成）

### FCP活動報告会 ＜2月＞ 場所：農林水産省または農林水産省周辺会議室

- チームごとに成果物を発表、活動報告会参加者との意見交換

## 3. FCP活動報告会

### ● 趣旨

食品事業者等の消費者の信頼向上の取組を持続的なものとするため、学識経験者やFCP参加企業による食の安全・信頼向上への取り組みに係る講演と、若手フォーラム参加者の発表を基にした活動報告会参加者による討論会を中心として、当該年度と次年度のFCP活動について、報告するFCP活動報告会を開催

### ● 参加者

- 当年度のFCP若手フォーラム参加者
- FCPのネットワーク参加者登録をしている企業・団体に所属する方

### ● 進め方

- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、WEB形式と集合形式の併用によるハイブリッド形式によって開催（社会状況によっては変更）
- テーマに沿った有識者の講演、事業者の事例紹介等を実施
- 本年度の若手フォーラム参加者が学んだことを踏まえ、各班毎に「社会環境の変化に応じた食品事業者の取組」等をテーマとした成果物を発表し、その内容に関して、活動報告会参加者がディスカッションを実施
- FCP事務局より、本年度の活動実績の報告と次年度の活動計画を説明

# 令和3年度 スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	若 第 手 1 フ 回 ォー ラ ム		若 第 手 2 フ 回 ォー ラ ム		若 第 手 3 フ 回 ォー ラ ム		若 第 手 4 フ 回 ォー ラ ム		若 第 手 5 フ 回 ォー ラ ム	F 令 C 和 P 3 活 年 動 度 報 告 会 会	

## 令和元年度の模様

【①勉強会、②ワークショップ後の発表】

【活動報告会（③発表、④ディスカッション）】

①



②



③



④



※今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、取り止めも含め変更

# ファシリテーターご紹介



## 山下 安信（やました やすのぶ）氏

株式会社フードサンテーション78 / 消費生活アドバイザー  
日本大学、新潟薬科大学非常勤講師

- 食品業界（日本生活協同組合連合会、森永乳業、日本マクドナルド）での研究、開発、ロジスティック、品質管理、リスクマネジメントなどの実務経験から、大学での実践的な講義や企業の実務者への支援に取り組む

- 各参加者には、グループのメンバーと連携し、各回の課題に取り組んでいただきます。
- 各回のテーマや課題設定、専門家講義の講師の選定はファシリテーターと事務局が行います。
- 各回のテーマや課題に沿ったグループ討議と、最終成果物作成のためのグループでの作業は、ファシリテーターが主導していきます。